

日高村地域再エネ導入戦略策定支援業務委託仕様書

1 業務の目的

日高村では、2050年までにゼロ・カーボン実現を目標として取り組むこととしていますが、その実現のためには再生可能エネルギーの拡充が課題となっています。

そのため、長期目標としての2050年を見据えて、近隣自治体、自治体新電力、村内外の企業と連携しながら住宅・公共施設における太陽光発電、営農型太陽光発電、農業残渣活用、木質バイオマス利用等の導入を目指し、省エネ、森林吸収源対策等も同時に推進しつつ、地域における再生可能エネルギーポテンシャル及び将来のエネルギー消費量などを踏まえた導入目標や、目標を実現するための具体的施策等を検討することを目的とします。

2 業務の対象区域

高知県日高村

3 適用範囲

本仕様書は、日高村(以下「本村」という。)が行う日高村地域再生可能エネルギー導入戦略策定支援業務(以下、「本業務」という。)に適用します。

4 業務の内容

(1) 基礎情報の収集及び現状分析

村の概況を整理し、エネルギー需要(消費実態)調査、再生可能エネルギー賦存量調査を行います。また、2050年の情勢に合った計画とするため、再生可能エネルギー関連技術や国の政策等の動向調査を行います。

(2) 将来の温室効果ガス排出量の推計

日高村の排出量の現況について、(1)のエネルギー需要(消費実態)調査の結果を元に推計を行います。また、将来排出量について(3)、(5)の内容を踏まえながらBAUシナリオと脱炭素シナリオの2パターンの推計を行います。

温室効果ガス排出量の推計においては「地方公共団体における長期の脱炭素シナリオ作成方法とその実現方策に係る参考資料 Ver.1.0」や「地方公共団体実行計画(区域施策編)策定・実施マニュアル算定手法編 Ver. 1.0」を参照し実施します。

推計においては、日高村が人口約4,700人規模の自治体であることやパル

プ・製紙業が盛んな地域であるといった地域特性を反映し、より実態に近いものとするために業種別推計等を行います。

(3) 将来ビジョン・脱炭素シナリオの作成

2050年に目指す姿のビジョンを作成します。作成においては理解しやすい内容とするためにイラスト等も用いて第6次日高村総合振興計画等との整合性にも留意を行います。

将来ビジョンをもとに(1)の再生可能エネルギー賦存量調査の結果を踏まえて、2050年までの脱炭素社会を見据えた計画になる脱炭素シナリオを作成します。

(4) 再エネ導入目標の作成

再生可能エネルギーの導入状況や将来導入計画を踏まえ、2050ゼロカーボンシティを実現するための、再生可能エネルギーの導入目標を検討します。導入目標は、2030年を中間地点として二段階設定し、日高村においてポテンシャルが見込まれる住宅・公共施設等における太陽光発電事業、営農型太陽光発電事業(ソーラーシェアリング)の検討、木質バイオマス利用事業、農業残渣ペレット利用事業、生ごみ等メタン発酵発電事業、廃食用油BDF化事業を候補とし、その他(1)における賦存量調査で有望と判断されたエネルギーについて検討を行います。

また、省エネ化、農機具の電化、EV車導入、地域マイクログリッド導入によるCO₂削減量や、森林による二酸化炭素吸収量について試算し、その効果を含めた削減量を整理します。

導入目標については、調査に必要な期間や公共施設の統廃合時期等も見据えて段階的に設定し、2050年に向けたロードマップとして整理します。

(5) 政策及び指標の検討並びに重要な対策に関する構想の策定

2050年までの脱炭素社会を見据えた計画(ロードマップ)の取り組みについて、再生可能エネルギー賦存量等を考慮し実現可能性を整理し、政策の検討を行います。

政策の検討においては、農業等地域産業との関連を踏まえた上で、自治体新電力事業で連携している須崎市を始めその他地域との連携可能性も踏まえたものとし、導入推進のためのPPA事業の活用なども検討を行います。

また、PDCAサイクルを回し進捗を管理するための指標を検討します。

(6) 合意形成を行うための専門的知見を要する会議等の開催

再生可能エネルギー導入目標策定検討会(仮)を開催し、有識者や村内企業等の意見を踏まえた計画とします。委員には役場内関係部署、高知工科大学や高知大学等の有識者、こうちスマートコミュニティ研究会、村内企業等を想定しており、年度内に2回の開催を予定しています。

また、検討会のなかで村内企業等へのアンケートを実施し、(3)～(4)へ反映させることで実現可能な計画にするとともに企業等を巻き込んで実施していく体制を構築します。

5 スケジュール

時期	業務・イベント
令和3年9月中旬	調査・検討内容等打合せ
令和3年10月中旬	基礎調査の実施状況等の報告
令和4年1月初旬	導入目標・施策、重点対策等の報告
令和4年1月中	再エネ導入目標等の策定

6 成果物の提出

成果物及び提出部数等は次のとおりです。

(1) 調査結果報告書(一式)

ア 簡易製本 提出部数10部

イ データー一式(CD-Rで提出してください。)

7 提案書記載要件について

提案書には、次の各項目の内容について記載してください。

(1) 本業務の実施方針及び実施体制について

本村の特性や課題をどのように認識し、本業務に当たるかといった本業務全体に対する考え方について示すとともに、実施体制及び役割分担を提案してください。

(2) 再生可能エネルギー導入目標の策定支援について

業務内容の各項目についての効果的な支援内容について、考え方や手法等を具体的に提案してください。

(3) 業務スケジュールについて

本業務を遂行するに当たって、本仕様書「5 スケジュール」も参照し、具体的な業務スケジュールを提案してください。

(4) 事業者の業務実績について

本業務に関わるもの全員について、事業計画策定又は策定支援(主に地球温暖化対策関連計画若しくは環境政策・施策に関する計画の策定又は改定業務)に関する業務実績を記載してください。

8 その他留意事項

本仕様書の内容に疑義が生じた場合は、本村との協議により決定することとします。